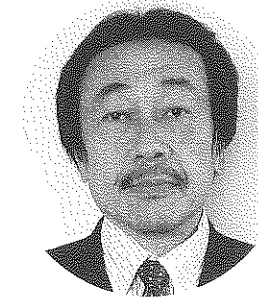


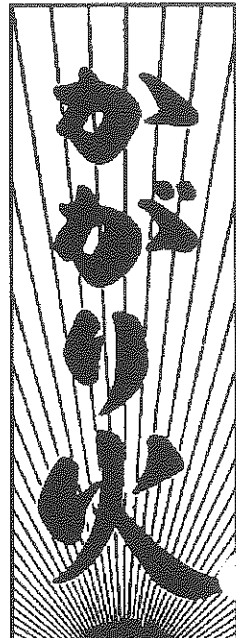
「身近に感じられる従事者部会を目指して」

従事者部会ではコミュニケーションのスキルアップを目指す研修会や、レクリエーションの先導役としてのスキルを学ぶ研修会など、利用者サービスに直結する研修の場を提供して、参加者の方々から好評を頂いております。その他、集団指導者養成教室や映像で学ぶ研修会、参加者である施設従事者の方々が少しでも元気に仕事に取り組めるようにと企画しています。しかし大阪の民間社会福祉施設従事者の総数が4万人を超えた状況では、従事者部会が果たす役割は、本当に微力であると痛感する今日この頃です。細く長くではありますが、4万人を超える従事者の方々に対して、少しずつ浸透していくような従事者部会主催事業



従事者部会長 竹田 功
生駒学園

を今後も継続していこうと計画しています。



発行所
〒542-0065
大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会
従事者部会
発行人 竹田 功

常任委員の紹介

副部会長
松柏学園 黒木 健一



松柏学園は吹田市の江坂町に6階建ての建物を構え、1階から4階までは特別養護老人ホーム「エバグリーン」、5階6階が松柏学園になります。

行事の参加や月2度のデイサービスの交流会等の活動をしております。

副部会長
四天王寺悲田太子乃園 奥野 匡俊



四天王寺悲田太子乃園は母子生活支援施設で児童福祉法による児童福祉施設です。緑豊かな素晴らしい環境のもとで母さんと子どもたちはのびのびと生活し子どもたちは健やかに成長しています。今後も職員一丸となり日々研鑽を積み支援の充実に努めます。



副部会長
みどり幼児園 橋田 浩史
みどり幼児園では、日々の保育や行事な



副部会長
ワークショップかりん 二上 英樹

どで、様々な感動体験を通し、子どもたち自らの成長しようとする力を発揮できる環境を作り同年齢や異年齢の友達と遊び、学び、楽しく心地よい生活が送れるよう努めています。



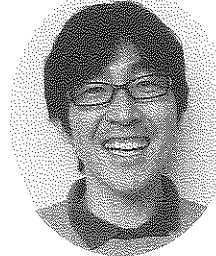
高津学園 松本 幹生
高津学園は、天王寺真田山地区の寺院や学校、公園に囲まれた中に施設があります。我々の法人は利用者や子どもたちの個性を尊重し、明るく楽しい生活を提供し、社会性豊かな人格形成と自立のための様々な支援を行い、その専門性をもって、地域社会との共生、共助を目指しています。



東日本大震災から一年が経ちました。震災は見えにくいもので気付かれる直後に比べ、徐々にではありますが建物や道路は復旧してきているように思います。そのように思います。そのような中、最近テレビ報道などでよく見かけるようになったのが「こころの支援」です。物資の支援はもちろんのこと、こころの支援を待っている方は多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

職場奮闘記

たんばぼ中条保育園
成宮 郁男さん



育士としての大切な役割も感じながら新たな職場に着任しました。不安だらけの毎日でしたが、それを取り除いてくれたのが子どもたちの笑顔。子どもにおとなの都合は関係なく「ウエルカム」の心で迎えてくれたのでした。我が園の「笑顔」そして「感動」のあたたかみ。保育現場でこれからの保育現場でこれからも主任男性保育士として存在感のある自分であり続けたいと思っています。

常任委員名簿

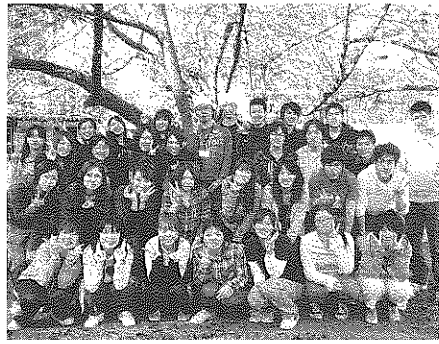
(平成24年6月現在)

役職	施設種別	施設名	氏名
部会長	児童	生駒学園	竹田 功
副部会長	児童	松柏学園	黒木 健一
	母子	四天王寺悲田太子乃園	奥野 匡俊
	保育	みどり幼児園	橋田 浩史
	セルブ	ワークショップかりん	二上 英樹
常任委員	児童	高津学園	松本 幹生
		博愛社	中道 武
		聖ヨハネ学園	平井 克典
		花園精舎	國井 裕
		大阪水上隣保館 ひびき	山崎 深
		南河学園	横山 泰直
		東光学園	友井 秀一
		三ヶ山学園	大塚 五郎
		信太学園	諫山 泰委
		白雲寮	松井 裕子
成人	セルブ	みなと寮	宮武 信行
		フローラ	新名 秀典
保育	セルブ	ポンチセブいか	村上 恵理
		とうふく	廣田 真一
		天川保育園	清家 伊織
		たんばぼ中条保育園	三角 寛子
		あすなろ保育園	大西 正剛
		第二光の峰保育園	長村 修治
		あい桂保育園	古賀 壽
		さわらび保育園	橋本 大樹
		山直南保育園	上田 季央
		五風会保育園	名小路谷 久美子
老人	セルブ	四天王寺悲田院養護老人ホーム	稲田 竜彦
		とりかい白鷺園	井上 卓司

(順不同・敬称略)

従事者部会とは
“大阪府社会福祉施設全従事者の会”
(会員施設は平成24年4月1日現在)

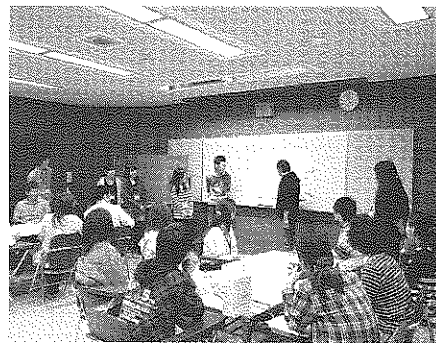
- ◎保育部会 581施設
民間保育園を対象とした組織。
- ◎老人施設部会 441施設
特養、養護、軽費、ケアハウスなどを対象とした組織。
- ◎成人施設部会 96施設
救護、更生、内部障害者更生、婦人保護、知的・身体障害者更生施設などを対象とした組織。
- ◎児童施設部会 74施設
児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設などを対象とした組織。
- ◎セルブ部会 111施設
授産施設を対象とした組織。
SELPとは、Sサポート(支援)、Eエンプロイメント(就労)、Lリビング(社会生活)、Pパーティシペーション(社会参加)の略。
- ◎母子施設部会 10施設
母子生活支援施設を対象とした組織。
- ◎医療施設部会 24施設
無料低額診療事業施設を対象とした組織。



二日間の宿泊研修を終えて

今回の研修で一番学んだことは、チームワークの大切さでした。A・Dのグループに分かれ、人間の知恵の輪やフープ・ダウンをしたり、グループディスカッション、小劇などを行いました。決して一人では出来ず、グループ内の仲間と協力しなければ出来ないことばかりでした。初めて会う人ばかりで、とても緊張しましたが、同じ目的に向かい話をする事で少しずつ打ち解けることが出来ました。最後の昼食は飯盒炊きをし、おいしいカレーライスを作りました。仕事においても、協力しあって良い環境作りをしたいと思います。

若手職員向けのコミュニケーションスキルアップ一泊研修が、10月25日から26日にかけて開催されました。今年度は41名の職員が、大阪市立信太山青少年野外活動センターに集いました。研修に参加させて頂き、養護老人ホームや母子生活支援施設職員など、普段交流する機会のない方々と話すことが出来たことが新鮮で、たくさん刺激を受けることが出来ました。具体的なコミュニケーション方法を学んだり、自分自身の役割が見えてくるような体験をしたりと有意義な時間を過ごすことが出来ました。コミュニケーションスキルアップ一泊研修にて学び、感じたことを、これからの仕事に、役立てていきたいと思いをしました。



グループ発表の様子

コミュニケーションスキルアップ一泊研修



打って走って守って、全員が大活躍!!

頃運動不足、年齢も若いとは言えないにも拘らず例年通りの練習一切なしのぶつけ本番。しかし試合が始まると、野球好きの従事者部会メンバーだけに、走、

従事者部会ソフトボールチーム名簿

氏名	性別	所属施設名
1 竹田 功	男	生駒学園
2 黒木 健一	男	松柏学園
3 横山 泰直	男	南河学園
4 橋田 浩史	男	みどり幼児園
5 井上 昭	男	みどり幼児園
6 里村 一也	男	みどり幼児園
7 白井 敏敬	男	やまだ保育園
8 名小路 久美子	女	五風会保育園
9 大谷 光四郎	男	阿武山たつの子保育園
10 奥野 匡俊	男	四天王寺慈悲田太子乃園
11 井上 卓司	男	とりかい白鷺園
12 新名 秀典	男	フローラ

敬称略 順不同

平成24年度民間共済会ソフトボール大会「従事者部会チームベスト8入り」平成24年5月17・18日「第44回共済会従事者ソフトボール大会」が快晴の中、舞洲スポーツアイランドで開催されました。従事者部会でのソフトボール大会も今年で4回目の参加になり、恒例のイベントとなりました。

攻・守のすべてにハッスルプレーの演出で、全員大活躍でした。その結果、予選リーグ通過し、なんと、ベスト8入りという快挙を成し遂げました。さすがに試合後は疲れが出ていましたが、汗を流し、楽しくプレーすることのでき、フレッシュ出来た一日となりました。

1月23日24日と和歌山県にあります社会福祉法人一麦会「麦の郷」を施設見学させていただき、この施設はジェームス三木さん、一麦会は、障がいのある人を「とくさん」と呼ぶという映画の舞台から青年・成人・高齢者の生活支援まで、総合的な地域生活支援活動に取り組んでおられ、精神障がい者を鉄格子の病院から地域へと生活の場所を移し、就労することで保護される側から納税者として生活しているようにと支援されています。また、この施設はジェームス三木さんが脚本を書かれた『ふるさとをくたさい』という映画の舞台にもなっていて、その中で地域に開かれた施設となっていく様子が忠実に再現されています。DVDにもなっていますので、機会があれば一度ご覧下さい。



宮本理事長・伊藤所長を囲んで

従事者部会常任委員宿泊研修



花園精舎 國井 裕

花園精舎は、隣接する小学校をはじめ、地域には花園ラグビー場やプラネタリウム、大小沢山の公園があり、子ども達が日々笑顔で明るく元気にのびのびと楽しく生活が送れるように、誠心誠意努めています。



東光学園 友井 秀一

平成21年4月より、従事者部会のお手伝いさせて頂いております。それぞれの福祉現場で活躍の委員の先生方の実践談は、とても刺激的で充実しています。微力ながら今後も一緒に、当部会を盛り上げて行きたいと思っています。



白雲寮 松井 裕子

白雲寮は、大阪市内にある、成人男性を対象とした救護施設です。利用者それぞれのニーズに適したサービス提供と、自立支援に取り組んで、ます。



ポンチセビリカ 村上 恵理

知的障害者通所授産施設です。パンやクッキー作り、喫茶での販売又軽作業では組み立て作業やプレス加工の仕事企業様から頂いて行っています。より良い工賃を目指して日々頑張っております。



聖ヨハネ学園 平井 克典

『いのちがかがやくために』という理念のもと、赤ちゃんから高齢者まで、幼児・児童の福祉、障がい者の福祉、高齢者の福祉という3つの柱をもつ事業体です。皆様とひびきあい、ささえあひながら、地域にひらかれた福祉事業を行ってまいります。



南河学園 横山 泰直

南河学園は、ぶどうの産地として有名な、奈良県との県境に位置する柏原市にあり、今年で88周年、米寿を迎えます。ここで70名の子どものちが暮らしています。これからも子どもたちのために精一杯努力してまいります。



信太学園 諫山 泰委

昨年度より信太学園に異動となりました諫山です。今年度より従事者部会に参加できることになり、お役に立ちたいと思っております。ご指導よろしくお願い致します。



フローラ 新名 秀典

フローラは東大阪市内にある救護施設です。様々な障がいを持った方を支援しています。地域生活への移行に力を入れた取り組み（居宅生活訓練事業、通所事業）も実施しています。



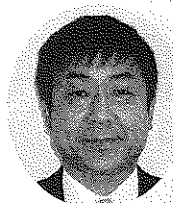
博愛社 中道 武

博愛社は、大阪市北部十三にあり、キリスト教「隣人愛」の精神にたち、子どもたちの健やかな育成に努め、地域に開かれた事業の充実を図っています。昨年には、新館も完成し、現在約125名の子どもの達が生活しています。



大阪水上隣保館 ひびき 山崎 深

天王山の麓、自然が多く残る環境の中で、大阪水上隣保館は昨年、創立80周年を迎えました。創設者の理念であるキリスト教精神、隣人愛精神のもと、愛ある働き人として、利用者や地域に寄り添い歩んでおります。



三ヶ山学園 大塚 五郎

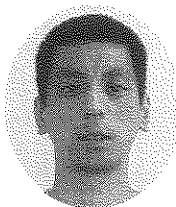
三ヶ山学園は、平成22年9月に新園舎が完成しました。子ども達も少人数になった新しい居室に喜び、親しんでいました。これからも、子ども達の自立支援に向けて、日々努力してまいります。



みなと寮 宮武 信行

人が生きていくための優しさ、相手への気配り、人権の尊重などを大切にしながら、利用者への支援を行っています。

とうふく 廣田 真一



とうふくは、知的障害者の就労を支援している施設です。学校清掃や企業内清掃、洗車、古紙回収・リサイクル回収など地域に出て行く活動を積極的にを行い、働く喜びを利用者の方々に感じてもらう取組みを行っています。

あすなる伊豆園 大西 正剛



あすなる保育園は、子ども達が元気で楽しく日々の保育園生活を送る中で規律ある生活習慣を身につけ、そして、保護者にとって安心して仕事と育児の両立ができる保育園環境作りを目指しております。

あい桂保育園 古賀 壽



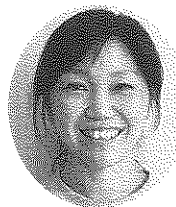
あい桂保育園は民営化5年目の八尾市にある園です。子ども達ひとりひとりの育ちを大切に、地域交流や地域支援にも力を入れています。毎日子ども達の元気なあいさつから1日が始まる楽しい園です。

五風会保育園 名小路谷 久美子



岸和田城近くにある五風会保育園です。元気にあいさつし、思いやり、自立心を育てていけるよう手助けすることを保育目標に、恵まれた自然環境の中、毎日子ども達の笑顔に囲まれ、日々を過ごしています。

天川保育園 清家 伊織



天川保育園は北摂の緑豊かな地域に位置する定員90名の保育園です。開園当初より「心豊かな元気な子」「生きる力のある子」に育って欲しいと、職員一同、日々の保育に取り組んでいます。

第二光の峰保育園 長村 修治



今年度より従事者部会常任委員を務めさせて頂きます。児童・成人・セルブ・母子・老人・保育の先生方の施設での現状など意見の交換をさせて頂き、学ばせて頂きたいと思っています。また従事者の皆様に喜んで頂けるような企画ができるようにしたいと思います。よろしくお願いします。

さわらび保育園 橋本 大樹



さわらび保育園は東大阪の西の西にあります。開園当初から保育モットーとして、深く・優しく・遅くを掲げ、日々保育しております。私は社会福祉士としてその使命を果たさんと身近にあることから取り組んでいます。

四天王寺悲田院養護老人ホーム 稲田 竜彦



四天王寺悲田院は羽曳野市にあり、高齢者施設・児童施設を中心とした複合施設です。昨年11月に高齢者施設が建て替え完成し、現在は定員528床(全室個室)の中、ご利用者様は日々充実した生活を送られています。

たんぽぽ中条保育園 三角 寛子



茨木市の官庁街にありJR・阪急駅からも近く緑豊かな環境で四季の移ろいを感じる事ができる「たんぽぽ中条保育園」。民営化6年目の今年度からは黄色スモック姿も眩しく半袖半ズボンで薄着の元気な園児の笑顔が、広い園庭で輝いています。

山直南保育園 上田 季央



山直南保育園は、みかんや桃の木に囲まれた緑豊かな岸和田市丘陵部に位置し、こどもの足で20分ほど歩くと、府立蜻蛉池公園の大きなフィールドが現れ、非常に恵まれた環境の中、こども達も健やかに成長してくれています。

とりかい白鷺園 井上 卓司



摂津市にあります特別養護老人ホームとりかい白鷺園で従事しております。入居者100名、短期入所利用者10名の施設です。施設の理念である「人にやさしい施設作り」を目指して、スタッフ一同で頑張っています。



平成23年度 集団指導者養成教室

集団指導者養成教室は、介護・障がい・児童など、さまざまな分野の施設職員がともに研修に参加し、レクリエーション指導、消防・救命研修、社会教養研修など多彩な研修を通じて施設従事者の資質向上を図るという研修会です。

第1回集団指導者養成教室

「施設現場の最前線から」

6月22日、ホテルアウイーナ大阪で開催され、約60名の方が参加しました。

今回は、施設現場の最前線で活躍されてこられた、異種別の施設長をお招きしました。第一部では児童養護施設「救世軍希望館」の前田徳晴氏、第二部には救護施設「フローラ」の松田昌訓氏に、それぞれの施設の歴史やこれからのについて、また職員の専門性についてお話をうかがいました。

前田先生のお話では、日本や諸外国の児童福祉の歴史・現状・課題などを聞き、学ぶものが多くありました。参加者の中には、～ビートルズ「ストロベリー・フィールド・フォーエバー」の秘密に迫る～のタイトルに惹かれ参加した方もおり、このタイトル名は、ジョン・レノンの子どもの時代の思い出の場所のエピソードだということと、とても感銘を受けた様子でした。又、松田先生

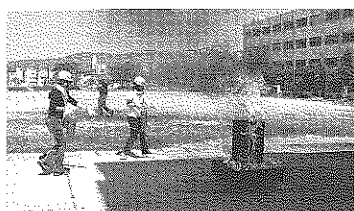


講演会「施設現場の最前線から」

第2回集団指導者養成教室

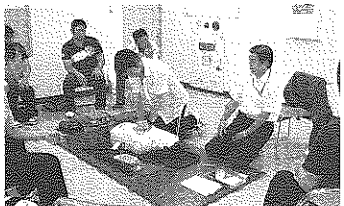
「いざという時のための消防訓練・普通救命講習」

の「社会福祉施設職員としての重要な視点とは」とのお話では、福祉とは何か、幸福とは何か、を改めて考えさせられ、とても有意義な研修となりました。



消防訓練の様子

ました。普通救命講習ではAEDを含む心肺蘇生法などを学習しました。いざという時に落ち着いて行動するためには日頃から施設での訓練が必須です。



AEDを使用した救命講習

第3回集団指導者養成教室

「いただいた命を生きる」

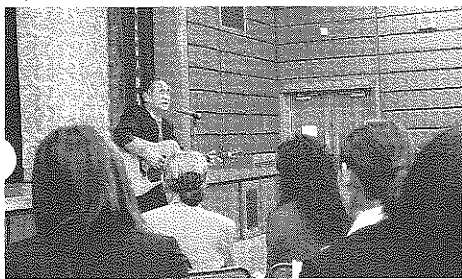
11月29日、大阪社会福祉指導センターにて第3回集団指導者養成教室を開催し、約70名の方が参加しました。

今回はシンガーソングライターの高石ともや氏を講師としてお招きし、『いただいた命を生きる』をテーマに本当に心にしみるお話と心に響く歌を聞くことができる感動の2時間30分でした。

生きていく上での「Understand」（理解すること）の意味（相手より低い姿勢で人と関わる）が、私たち福祉施設従事者として人と接する仕事の原点であることに気づかされました。

また、人としてどう生きればいいのか？人としてどうあれたいのか？という自分自身の生き方につきましても、『前に生きていく勇気と共感する喜び』など自分の心のもちようについて、大勢の方が『これからの自分』への大きなアドバイスになったことと思います。

高石さんのメッセージ性の強い歌の中に込められている思いが、ギターの優しい音色と素晴らしい歌声で会場が一体となり、参加者全員の心に残りました。



高石ともや氏
歌を交えて温かいメッセージを届けてくださいました

従事者部会人権研修

「Children's Views & Voices」

（共催：児童施設部会／大阪府社会福祉施設人権活動推進協議会）

2月11日に従事者部会人権研修が、児童養護施設で育つということと当事者の視点や声から、施設における人権保障について考えるというテーマで行われました。児童施設部会、大阪府社会福祉施設人権活動推進協議会との共催で、43名の方が会場の大江ビルに集まりました。

中高の5年間を担当したAくんが発表するということで今回参加させて頂きました。

在園中もわりと色々なことを話してくれ、親に対する思いなども聞いていたのですが、あの頃うまく言えなかったことや深くまで言えなかったことを、大人になり社会人になったAくんから聞くことができ少し変な気持ちでしたが、私自身も改めて施設で生活する子ども達の様々な思いを考えてみる事ができました。

子どもにとって良かれと思った配慮が裏目に出てしまったり、子どもだからわからないことと大人の勝手な判断であり、受け入れられる子どもには現実を伝えフォローしていくことが施設職員として時には大切なことだと思いました。



「CVV」メンバーによる講演